

山元議委発 89号  
令和元年9月17日

山元町議会議長 阿部 均 殿

総務民生常任委員会  
委員長 伊藤 貞悦

### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり終了したので報告します。

#### 記

#### 1 調査事項

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| (1) 保育所再建について           | 6月27日 |
| (2) 高齢者福祉（引きこもり対策等）について | 7月12日 |
| (3) 中期財政見通しについて         | 7月29日 |
| (4) 入札・契約について           | 7月29日 |
| (5) 過疎地域自立促進計画について      | 8月19日 |
| (6) 第6次総合計画について         | 8月19日 |
| (7) 町民バスについて            | 8月19日 |

#### 2 調査結果

- (1) 保育所再建について
- ・保育所再建について説明を求めたが大きな進展はみられなかった。
  - ・児童数、利用料無償化について説明を受け、調査を行った。

#### 意見

- ・当町の0歳から2歳までの非課税対象者数や無償化対象外の人数把握を早急に行い、10月から施行の対策を取るべきである。
- ・坂元地区からつばめの杜保育所への送迎サービス等何かしらのサービスは必要である。
- ・保育所の再建については議会への説明を早めに行うべきである。

(2) 高齢者福祉（引きこもり対策等）について

高齢者福祉対策としての現状と取り組み、引きこもり対策・自死対策について説明を受け、調査を行った。

**意見**

- ・施設入所の際、医療従事者、保健師、介護事務所スタッフの共通の指示書（カルテ）を作成し、情報共有の仕組みづくりを図っていることは評価できる。一方で入所したくても年金だけでは入所出来ないといった問題もある。
- ・ひきこもり相談窓口（保健福祉課健康推進班：保健師）の情報提供の周知が必要である。
- ・地域包括支援センターを業務委託とする場合は、町内業者で運営するのが望ましい。

(3) 中期財政見直しについて

次の2点について説明を受け、調査を行った。

- ①中期財政見直しの作成・提出について
- ②基金残高について

**意見**

第6次総合計画を踏まえ作成するため、中期財政見直しの作成が来年になることがわかったが、機会を捉え基金残高の現状や形成過程の説明も行うべきである。

(4) 入札・契約について

入札結果と町内業者の落札状況の推移について説明を受け、調査を行った。

**意見**

- ・町内業者の育成については町内業者との意見交換等を継続的に行うべきである。
- ・総合評価方式を本格的に進めるのであれば、その考え方を整理すべき

である。

- ・地元業者に対し、条件付き一般競争入札といった手法も可能か検討するためにも、現在の落札状況を十分に分析する必要がある。

(5) 過疎地域自立促進計画について

平成30年度の決算及び令和元年度以降の予算を計画に反映させるために変更・手続きを行う旨の説明を受け、調査を行った。

**意見**

計画に「重要な変更」が生じる場合は議会の議決を要するが、ここに至るまでの経過についても機会を捉え議会に示すべきである。

(6) 第6次総合計画策定について

町の将来を見据え、新たなまちづくりの指針となるための計画策定をどのように進めているのか調査を行い、資料を基に説明を受けた。

**意見**

全ての町民が対象となる計画のため、内容は明確、明快な表現になるよう留意し作成する必要がある。

(7) 町民バスについて

交通弱者への対応、交通環境の整備について調査を行い、説明を受けるとともに意見交換を行った。

**意見**

- ・休日の利用を望む声もあることから、土日の運行も考えるべきである。
- ・デマンド型タクシーについては、さらに町民が利用しやすいように環境整備を行う必要がある。